

火山灰による農作物被害の技術対策

平成27年6月16日
埼玉県農林部

○ 共通事項

1 事前対策

- (1) 噴火に関する情報（予報、警報等）に注意し、噴火の規模や降灰する地域、噴出する灰の種類等により、被害地域や規模等が異なるので、噴火に関する情報を収集する。
- (2) 降灰による農作物の被害を回避するには、被覆資材を用いて火山灰が直接茎葉に付着するのを防止する。
- (3) 大量の降灰や継続的な降灰が予想される場合は、必要に応じてトンネルなどの被覆栽培を行う。また、施設では大量降灰による倒壊に備えて、支柱等によりハウスを補強する。

2 事後対策

- (1) 除灰は、振動による払い落とし、散水器具や野菜洗浄機を用いた洗浄などの方法により速やかに作業を行う。散水する場合は十分な水量を用い、ほ場内の排水に留意する。
- (2) 収穫期に達しているものは速やかに収穫（適期収穫）し、取引業者と協議を行った上、被害対策などに応じた調整作業を行って出荷する。
- (3) 土壌の酸度対策については、火山灰の pH はその都度異なるので、成分分析を行い、強酸性の場合はアルカリ資材（石灰等）で中和する。アルカリ性の火山灰の場合は、本県の土壌は主に酸性のため、土壌とよく混和すれば問題はない。
- (4) 降灰下で作業を行う場合は、防護めがね、防塵マスク、火山灰が皮膚に触れないよう長袖、長ズボン、タオル等を着用する。

○ 野菜

1 共通事項

- (1) 野菜の被害は、火山灰が積もっておこる生育不良や商品性の低下、ハウス内の日照不足などが想定される。
- (2) 火山灰が大量に積もると土壌酸度、塩基置換容量、リン酸吸収係数等に大きな偏りを生じることがあるので、火山灰の成分分析を速やかにを行い、土壌改良に努める。

2 露地野菜

- (1) 降灰が茎葉に長時間付着すると光合成が阻害され、生育不良をきたす。
- (2) 降灰による傷口から病原菌が侵入しやすいので、適用農薬の散布を行う。

3 施設野菜

- (1) 被覆資材に堆積した灰は、降灰の都度、動力噴霧器等でこまめに散水して速やかに除灰する。
- (2) 降灰時にハウスを締め切って灰の侵入を防ぐ。

○ 果樹

- 1 火山灰が茎葉、果実に長時間付着した場合は生育不良や果実の商品性低下をきたすので、速やかに除灰する。付着した火山灰の性質を見極め、スピードスプレーヤー（SS）の送風で除灰できるか、SSの水散布によって除灰するほうが効果が高いのか試行して、効果のあるやり方で行う。その際、周辺作物、住宅当への影響も加味し、2次被害をだ

さないよう注意する。

- 2 ナシなどで防除計画に基づいて防除を行う場合は、茎葉や果実から除灰した後に実施する。
- 3 こうあ部（果梗部）に溜まった火山灰は、収穫後コンプレッサー等による除去が必要となるので、選果場、組合等で機械の準備や利用法について検討しておく。
- 4 樹勢の回復には有機物施用の効果が高いので、バーク堆肥等を10aあたり1～2t程度施用する。

○花植木

- 1 施設栽培では、火山灰の侵入を防ぐため、施設内の温度に注意しながら側窓、天窗等の開口部を少なくするとともに遮光カーテン等を展張する。
- 2 火山灰が付着したものは、晴天の午前中に付着した灰を洗い流し、夕方までに花や葉が乾くようにする。
- 3 なお、水で洗い流した場合は、水滴で葉や花弁に灰色かび病等のボトリチス属菌による病害が発生しやすいので注意する。
また、開花前であれば予防散布（汚れが目立たない薬剤を選択）を兼ねた洗い流しも効果的である。

○畜産

1 飼料作物

- (1) 降灰が予想される場合、収穫適期のもの及びこれに近いものは降灰前に刈取り処理する。生育中期の場合は、降灰後生育の一時停滞が考えられるので、生育の回復を促進するために施肥を行う。
- (2) 火山灰が付着した飼料作物は原則として給与しない。

○茶

1 摘採前

- (1) 摘採時に茶葉に火山灰の付着があるときは、降雨を待ち雨水により洗い流し、または摘採前に洗淨機やスプリンクラー等で散水できる茶園は散水し、除灰してから摘採する。
- (2) 降灰にあった茶園で摘採機や管理機械を使用すると火山灰がエアクリーナ等に詰まり故障を生じやすくなり、作業能率が低下するので注意する。

2 摘採後

- (1) 火山灰が付着したまま生葉を加工すると荒茶の浸出液に火山灰が混入し濁るとともに、沈殿物として残るため商品価値を失うことが想定される。
- (2) 摘採した生葉は、水をためたボール等で必ず火山灰の付着を確認し、火山灰を認めた場合は、洗淨脱水処理が可能なら洗淨脱水して製造する。洗淨脱水ができないときは、摘採を見合わせる。

○特用林産物（きのこ類）

1 露地栽培

- (1) ほだ木は、早急にビニールで被覆し、火山灰の付着を防ぐ。

2 施設栽培

- (1) ハウスに堆積があった場合はハウスを閉め天井等に堆積した火山灰を動力噴霧器で除去、洗淨する。